

第114期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日 証券コード：4536



代表取締役社長 兼 CEO 平藤 毅

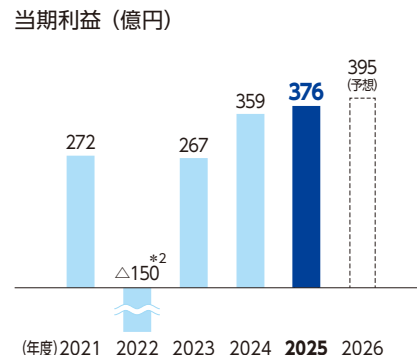
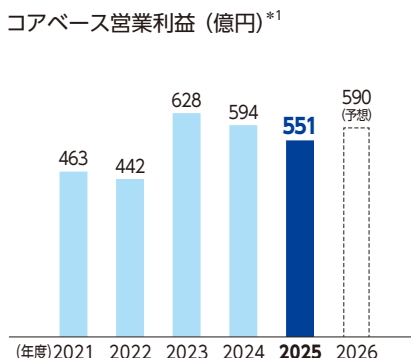
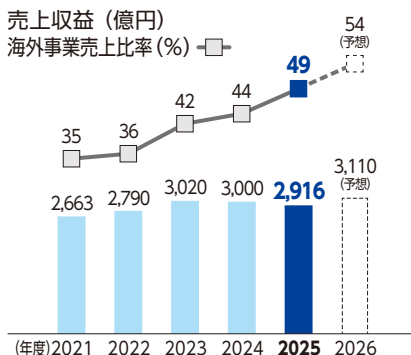
… 基本理念 …

天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。*

* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

⇒ 連結財務ハイライト



*1 IFRS (フル) ベースから一部の収益・費用 (製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用、持分法による投資損益、企業買収に係る費用、ならびに再成長のための生産性向上および合理化等に係る費用) を控除し、コアベースの業績を算出しています。

*2 Eyevence Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) およびEyevence Pharmaceuticals LLC (米国) 関連資産の減損損失を計上しています。

2026年度は増収増益基調へ

2025年度の業績および2026年度の見通し

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

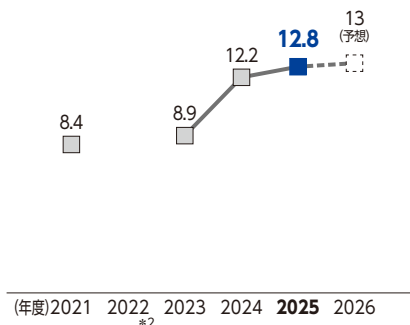
2025年度は、日本での主力品の後発医薬品の参入などの影響を受けましたが、リジュセアミニ点眼液やセタネオ点眼液などの新製品の発売やジクアスLX点眼液の出荷再開、アレジオン*1類の堅調な推移、ならびにアジア・EMEA*2の貢献により、売上収益は2,916億円（対前期2.8%減収）、事業活動自体の収益性を示すコアベースでの営業利益は、551億円（同7.1%減益）となりました。また、IFRS（フル）ベースでの営業利益は478億円（同2.0%増益）、当期利益は376億円（同4.8%増益）となりました。これらの結果、EPSは前期の104円から114円に向上しました。

中長期的な成長を支えるポートフォリオ拡充に関する取り組みでも進展がありました。日本では、2026年5月に後天性眼瞼下垂治療剤アップニークミニ点眼液を発売しました。昨年、日本およびEMEA

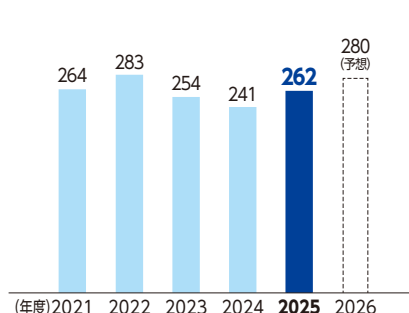
で発売した近視進行抑制点眼剤とともに、未発売地域での開発および発売国での普及を進め、両剤で2029年度に約450億円の売上を目指します。中国では、緑内障領域において自社製品であるタプロスと並びアジア太平洋緑内障学会のガイドライン*3で第一選択治療薬として推奨されているAlphagan製品群などの独占的な流通権を獲得し、網膜疾患領域においては糖尿病黄斑浮腫（DME）・滲出型加齢黄斑変性（wAMD）を対象として開発されている硝子体内注射剤（STN1014300/01）の開発製造販売権を獲得するなど、貢献領域を広げています。また、アジアでは、wAMDやDMEなどを対象として販売されているベオビュおよびルセンティスの韓国での販売権を獲得し、日本以外で初めて後眼部領域に参入しました。

2026年度は、中期経営計画において、増収増益を実現する年と位置付けています。日本では新製品やジクアスLXにより2025年度並みの収益を維持しつつ、中国・アジア・EMEAが成長をけん引し、

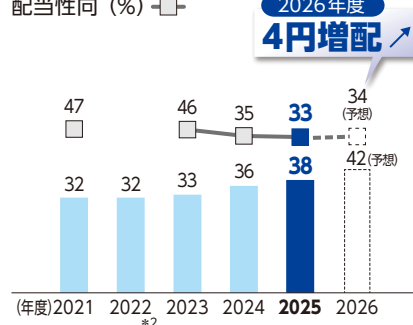
ROE (%)



研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円)
配当性向 (%)



売上収益3,110億円、対前期6.6%の増収、コアベースでの営業利益590億円、同7.0%の増益を予想しています。また、当期利益も対前期5.2%増の395億円、EPSは同9.1%増の124円への上昇を見込んでいます。

資本配分・株主還元について

中期経営計画に基づき、収益性強化を通じた、キャッシュの創出力を高めてまいります。その上で、創出したキャッシュを将来成長のための研究開発や事業開発に投資をしております。

株主還元については中長期的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を掲げており、2025年度は年間配当を1株当たり2円増配し38円としました。2026年度については、増収増益への見通しが確たるものとなったことを踏まえ、4円増配の中間配当21円、期末配当21円の計42円を予想しています。

また、有望な事業開発投資機会が無い場合は、株価の状況を鑑みながら機動的な自己株式取得による利益還元を実施することを基本的な方針としています。2025年度は319億円の自己株式取得を実施しました。これにより、2022年度以降の累計で発行済株式数の約20%が圧縮され、1株当たり利益の向上に寄与しました。

これからも、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスの提供を通じ、眼科に特化した企業として世界中の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

- *1 アレジオンは提携パートナーであるBoehringer Ingelheim KGの商標
- *2 ヨーロッパ、中東およびアフリカ
- *3 Asia-Pacific Glaucoma Guidelines, 4th Edition. 2024

後天性眼瞼下垂治療剤「アップニーク®ミニ点眼液0.1%」を日本で発売

眼瞼下垂は、上まぶたが下がることによる外観的变化のみならず、病態が進行すると視野の狭窄を引き起こし、目の疲れや頭痛・肩こり等の日常生活における様々な不具合をもたらすことがあります。

日本国内では、これまで、医学的治療法は外科手術に限られていました。

Santenは、新たな治療選択肢を眼瞼下垂の患者さんに届けるため、後天性眼瞼下垂治療剤「アップニーク®ミニ点眼液0.1%」について、薬機法*1に基づく製造販売承認を取得し、2026年5月に日本国内で発売しました。本剤は、外科手術以外の非侵襲的な治療法として、後天性眼瞼下垂を改善する日本初の治療薬*2です。

今後も、点眼による治療法がなかった眼疾患領域での研究開発を推進し、眼科領域に特化したグローバル製薬企業として、患者さんの多様なニーズに応えていきます。



アップニーク®ミニ点眼液0.1%

*1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

*2 本剤は、薬価基準未収載医薬品のため、健康保険等の公的医療保険の給付対象外となります。

研究開発状況(臨床段階)

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 屈折異常領域 ■ 網膜疾患領域 ■ その他の領域

2026年5月時点

開発コード	一般名・化合物名	効能・効果	地域	臨床試験*1			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
STN1011101 / DE-111A	タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国						2025年8月
STN1011702	オミデネパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	中国						
STN1012600 / DE-126	セバタプロスト	緑内障・高眼圧症	米国 日本 欧州						2025年10月
STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州 アジア						2024年8月 2024年11月
STN1013900 / AR-13324	ネタルスジルメシル酸塩	緑内障・高眼圧症	日本 欧州 アジア						2025年7月 2023年2月 2024年11月
STN1014000 / PG-324	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州 アジア						2023年1月 2025年3月
STN1014003	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	日本						
STN1007603 / DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	中国						2025年12月
STN1014100	オロダテロール塩酸塩	ドライアイ	日本		フェーズ2b				
STN1014101	オロダテロール塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本		フェーズ1/2a				
STN1011402	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本 中国						2024年5月
STN1011403	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	中国						2025年3月
STN1014200 / CBT-001	ニンテダニブ	翼状片	日本		フェーズ2b				
STN1012700 / DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本 中国 アジア						2025年4月 フェーズ2/3 2025年7月
STN1012701 / SYD-101	アトロピン硫酸塩	近視	欧州						2025年7月
STN1014300 / RC28-E	eflimrufusp alfa	糖尿病黄斑浮腫	中国						2025年9月
STN1014301 / RC28-E	eflimrufusp alfa	滲出型加齢黄斑変性	中国						
STN1013800	オキシメタゾリン塩酸塩	眼瞼下垂	日本 欧州 中国						2026年5月

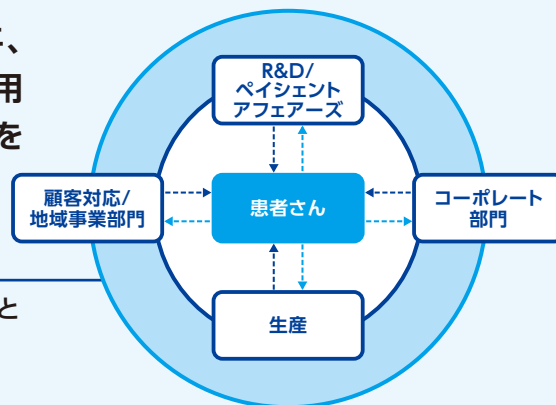
*1 臨床試験：フェーズ1～3の3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。フェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。フェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

STN1010904（一般名：シロリムス）は、フックス角膜内皮ジストロフィを対象としたフェーズ2a試験のデータ解析の結果、開発を中止しました。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占の実施権を獲得した後に附番を予定していたコードです。）

STN1010905（一般名：シロリムス）は、マイボーム腺機能不全を対象とした追加フェーズ2a試験のデータ解析の結果、開発を中止しました。

Santenの成長を支える製品創製

2025-2029年度中期経営計画期間中の売上への寄与、および2030年度以降の持続的な成長を実現する医療用医薬品ポートフォリオ・パイプラインを拡充する取り組みを行っています



患者さん視点／未充足ニーズ

Santenにおける患者さんを中心としたコミュニケーションとコラボレーション

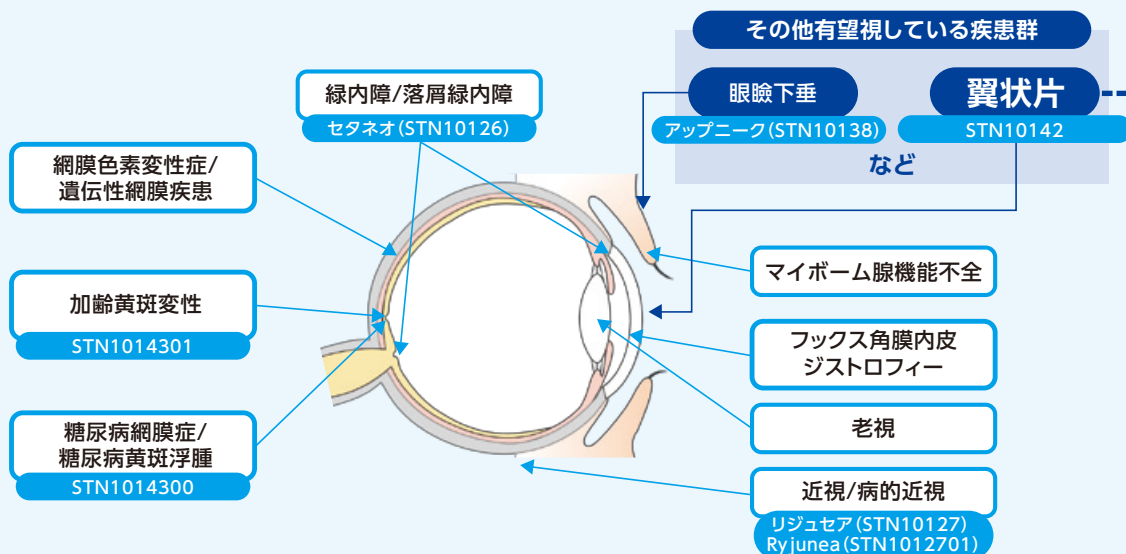
R&D戦略

未充足ニーズおよびSantenの強みを活かしたターゲット疾患領域を特定

- ▶各ターゲット疾患領域において、独自性・差別化によりニーズを満たす治療法をターゲットソリューションとして定義
- ▶ターゲットソリューションに基づき有望な案件を選択し、パイプラインとして投資

事業開発 × R&D ▶ 新規パイプライン／新規パートナー

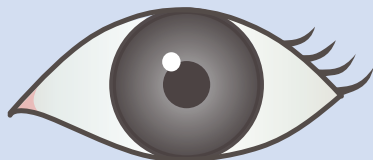
注力する疾患とそのパイプライン



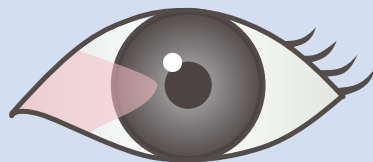
新疾患領域におけるパイプラインの一例

STN10142：翼状片を対象とした点眼薬の開発

翼状片とは？



正常眼



翼状片

症状

異物感、
充血や乱視
など

翼状片とは、結膜下の組織が異常増殖し、血管を伴った組織が角膜の中央に向かい侵入し、三角形(翼状)に見える病変で、異物感、充血や乱視などを引き起こします。

日本での 有病率

40歳以上の
25人に1人^{*1}

太陽光(紫外線)への暴露が主なリスクファクターで、有病率は日本では40歳以上の25人に1人^{*1}という報告があります。

現在の 治療法

手術のみ

現在の根本治療は手術のみです。しかし、術式によっては再発する傾向がある^{*2}、ライフスタイルや職業によっては手術のタイミングが難しい、といった課題があります。

STN10142とは？

マルチキナーゼ阻害剤として血管新生および線維化を抑制するニンテダニブを有効成分として開発している点眼剤です。現在、日本にてフェーズ2b試験を実施しています。これまで、進行した場合等に手術で切除する治療が中心とされてきましたが、病変の進行を点眼剤で抑制するという新たな治療選択肢を患者さんにお届けできるよう努めます。

^{*1}Tano et al, *Acta Ophthalmol* 91(3):e232-6, 2013

^{*2}. Tanaka et al, *Journal of Japanese Ophthalmology* 115:386-390, 2011

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.com/ja/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人

および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777 (通話料無料)

会社概要 (2026年3月31日現在)

社名	参天製薬株式会社
本社	〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号
創業	1890年
設立	1925年
資本金	8,824百万円
工場	能登、滋賀、他
研究所	奈良研究開発センター、他
従業員数	3,968名 (連結)

◆◆ 株式に関するお手続き等について ◆◆

1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

◆◆ お問い合わせ先 ◆◆

参天製薬株式会社 IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

お問い合わせフォーム : <https://www.santen.com/ja/contact/form1>

URL : <https://www.santen.com/ja>